



## 新会長就任のあいさつ

はじめに、東日本大震災で被災されましたみなさまへ心からお見舞い申し上げます。一日でも早く復旧復興されますよう心からお祈り申し上げます。

さて、このたび平成23年、24年度役員改選により4代目会長に就任いたしましたことになりました。本連盟は、自転車競技の国際的なプロ・アマオープン化に伴い、日本の自転車競技界を統括する唯一の団体として1995年（平成7年）に発足し、今年で18年目を向かえることができました。

本連盟も含むスポーツ競技団体の目標であるオリンピックでの活躍は、人々に勇気と力を与える素晴らしい舞台であります。2012年ロンドン五輪まで約1年2ヶ月となり、短い時間となりますがその目標に向かって、世界選手権10連覇の中野浩一氏を強化委員長に迎え、また日本代表監督に松本 整氏の就任が決まったところです。関係者一同が目標に向けて、自転車競技のファンのみなさまの期待にそえるよう精一杯頑張ります。

またその一方、自転車競技界を取り巻く経済状況は大変厳しく、現在本連盟は財政的に存続危機にあります。新役員一同、財政再建を最重要課題と認識し、決意も新たにこの危機を乗り越えるべき努力する所存でございます。

つきましては、関係各位のみなさまへ、更なる一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、会長就任の挨拶とさせていただきます。

財団法人日本自転車競技連盟 会長 富原 忠夫



全プロ選手権1kmTT優勝の新田

## シクリスムエコー No.180 2011年4・5月合併号

平成23年度事業計画	2
収支予算書総括表	3



平成23・24年度新役員の紹介	4
-----------------	---

平成23・24年度専門委員会委員	5
平成23・24年度評議員名簿	5

2011年トラック世界選手権大会	6
------------------	---



第58回全日本プロ選手権自転車競技大会トラックレース	7
----------------------------	---



加盟団体事務局変更について	8
2011年強化指定選手について	8
連盟の動き	8



この広報誌は、競輪の補助金を受けて作成しました。

<http://ringring-keirin.jp>

# 平成23年度 事業計画

財団法人 日本自転車競技連盟

民主党への政権交代に伴う事業仕分けに端を発した競輪補助金の見直しは、23年度3分の1の自己負担金という形で我々の前に現れた。

この結果、連盟の財政見込みは、瞬く間に危機的状況に陥り、ロンドンオリンピックの参加枠を獲得する最終年度であると共に、公益財団法人として申請すべき本格的準備に入る23年度を迎えるに当たり、ここに別紙「非常事態宣言」を発し、まずは財政状況の健全化を図らざるを得ない状況を迎えた。

我々は、UCI傘下の唯一のNFとしての矜持を守り、今後とも永続的に我が国の自転車競技の発展に尽くすべく、日本経済の僅かながらの好転と自転車を取り巻く追い風を糧に、連盟一丸となって全力を挙げてこの状況を乗り越えるために努力していくと共に、以下に記載する諸業務も並行して実施していくこととしたい。

## I. 事業計画概要

### 〔総務委員会〕

例年同様、評議員会、理事会及び常務理事会並びに総務委員会を通して、適正・円滑な運営を図ることを目標とすると共に、機関誌「シクリスムエコー」及びホームページを通して外部への発信を強化することで会員の増加に寄与することを企図する。

また、平成25年11月を期限とした公益法人制度改革について、公益財団法人の申請を意識しつつも、まずは財政再建に向けて自主財源の確保、管理費におけるゼロベースでの見直しを優先し、その上で一歩ずつ確かな足取りで進むこととする。さらに、競輪他各種補助金における補助効果にも充分配慮することとしたい。

### 〔競技運営委員会〕

平成22年度より普及・拡大事業が充実され、幼児期から年少者を対象とした事業が始まった。

今年度は事業を検証し、充実・発展させることが必要となる。そのための地域活動の強化、地域体育協会・自治体等との連携が必要であり、指導者の確保・育成も重要である。

日本体育協会は、平成25年度国民体育大会より監督に公認指導者資格を義務付けている。本連盟として、自転車競技の普及・拡大及び充実した大会・選手指導

には、継続した指導者養成の必要を感じ実行する。

大会の実施は自転車競技の魅力を社会に紹介する機会であることを認識し、今まで以上に機会を増やし、安全性を追及しながら円滑・魅力的な大会運営を心掛ける。また、各大会が持つ諸問題を検討し、充実した大会を目指す。

### 〔選手強化委員会〕

本年度は、2012年ロンドンオリンピック出場枠獲得の最終段階に入ることから、国際自転車競技連合(UCI)ポイント獲得に向け、主要大会への選手派遣並びに選手強化合宿を積極的に行い、選手強化に努める。

トラック競技においては、ロンドンオリンピックの出場枠獲得に向け短距離種目と中距離オムニウム種目に重点を置き、選手強化に努める。特に短距離種目の中でもチームスプリント種目において出場枠を獲得した場合は、スプリントとケイリンの両種目の出場枠が付与されることから、チームスプリント種目に重点を置き、選手強化に努める。

さらに、ロンドンオリンピックよりトラック実施種目において男女同一種目を採用したことから、女子競技者の選手強化並びに育成に努める。

また、次回ロンドンオリンピック、次々回リオデジャネイロオリンピックに向けた選手の発掘を目的に、チャレンジ・ザ・オリンピックを実施する。

併行して、(財)日本オリンピック委員会並びにUCIとの連絡を密にし、その情報収集を図り、万全の体制で臨めるよう努める。

ロード競技においては、男子が本年10月16日のUCIポイントランキング、女子が2012年5月31日のUCIポイントランキングで出場枠が決定することから、国際大会等への選手派遣並びに強化合宿を積極的に行い、選手強化に努める。

MTB、BMX競技等においては、強化指定選手を中心に国内合宿を積極的に実施し、国際大会でロンドンオリンピック出場枠が獲得できるよう選手の強化並びに育成に努める。

ジュニアについては、2011年ジュニア世界選手権及びジュニア国際大会に積極的に派遣し、好成績が得られるよう選手強化を図る。

### 〔国際事業推進部会〕

本連盟によるチーム派遣のみならず個々のチーム、競技者、審判員らによる多様な国外競技活動や、国内での国際大会開催、国際化を視野に入れたチーム等の体制の整備など、多年にわたり国際的活動は増加している。

この状況下、わが国と世界、特にアジア圏の自転車競技の健全な継続的発展に資するために、国内、国外から評価される高いブランド力が求められる。

そのために国際的競技大会の質を高め、さらに国内大会に反映させるためにも、国際的な情報の収集、共有、発信とともに実践していくことも重要である。

これらのことを踏まえて、国際事業推進室は、本連盟諸事業の場において、人材の発掘、養成、登用、資料、文書の2ヶ国語(日本語・英語)化、国内外の情報の収集、優れたシステムの導入、対外(国内外)的な情報の蓄積および公開、そしてこれらのための事務局内での情報の共有化および実践のための施策を推進する。

そして、これらの円滑な推進のため、関係者、関係団体との良好で緊密な協力関係を涵養すべく活動する。

実施事業については以下のとおりである。

## II. 実施事業

### 1. 国内競技大会関係事業

- (1) 全日本自転車競技選手権大会  
(トラック、ロード、個人TTロード、Jrロード、室内自転車、マウンテンバイク、シクロクロス、BMX)
- (2) その他国内大会  
(全アマトラック、全アマロード、JOCジュニアオリンピック、全国都道府県対抗)

### 2. 国内での国際競技大会

2011年世界室内自転車競技選手権鹿児島大会

### 3. 国際競技大会関係事業

- (1) 世界選手権自転車競技大会  
(トラック、ロード、マウンテンバイク、BMX、室内自転車、シクロクロス、Jrトラック)選手派遣
- (2) アジア自転車競技選手権大会  
(トラック、ロード、マウンテンバイク)選手派遣
- (3) ワールドカップ大会選手派遣
- (4) 日韓対抗学生自転車競技大会



## 4. 加盟団体関係事業

## (1) 都道府県連盟関連事業

- ① 幼児対象事業
- ② 初心者教室
- ③ 女子競技者
- ④ 友の会
- ⑤ 記録会
- ⑥ ケイリン種目普及
- ⑦ 全国都道府県別自転車競技選手権大会 (47 都道府県)
- ⑧ 全国地域別トラックレース大会 (8 地域)
- ⑨ 連絡会議

## (2) 日本プロフェッショナルサイクリスト協会関連事業

- ① 全日本プロフェッショナル自転車競技選手権大会等
- ② プロサイクリスト強化事業
- ③ 国際競技大会事業

## (3) 全国高等学校体育連盟自転車競技専門部関連事業

- ① 全国高等学校選抜自転車競技大会 (トラック、ロード)
- ② 全国高等学校自転車競技合宿 (ブロック・全国)

## (4) 日本学生自転車競技連盟関連事業

- ① 全日本学生選手権自転車競技大会

- (トラック、ロード、チームロード)
- ② 全日本大学対抗選手権自転車競技大会
- (5) 全日本実業団自転車競技連盟関連事業
  - ① 全日本実業団対抗サイクルロードレース大会
  - ② 全日本実業団自転車競技選手権大会
  - ③ 東西地域別実業団(トラック、ロード)
  - ④ 全日本実業団サイクルロードレース in 石川大会

## 5. 強化・普及事業

## (1) 選手強化事業

- ① 強化合宿 (国内合宿、MTB 強化費、ジュニア強化合宿事業費、女子競技者強化事業)
- ② 国内合宿基地等維持費
- ③ コーチ・スタッフの整備等
- ④ 競技用機材等整備

## (2) 全国自転車競技指導担当者研修会・審判講習会

## (3) 自転車競技の普及・広報事業

- (4) ケイリン種目等指導普及事業 (全国高等学校体育連盟自転車競技専門部、日本学生自転車競技連盟、全日本実業団自転車競技連盟)

## (5) 広報誌の発行

## (6) チャレンジ・サイクルロードレース大会

## (7) 未登録者推進に係るシステム改修

## (8) 広報 (宣伝、現地報道対応)

## (9) アンチドーピング活動事業

## Ⅲ. 共催事業の実施

- (1) 第 15 回 ツアー・オブ・ジャパン (自転車月間推進協議会他)
- (2) ツール・ド・おきなわ 2011 (NPO 法人 ツール・ド・おきなわ協会他)
- (3) ツール・ド・北海道 2011 ((財) ツール・ド・北海道協会)
- (4) シマノ鈴鹿国際ロードレース大会 ((株) シマノ)
- (5) 平成 23 年度全国高等学校総合体育大会 ((財) 全国高等学校体育連盟、秋田県)
- (6) 第 66 回国民体育大会自転車競技会 (文部科学省、(財) 日本体育協会、山口県他)
- (7) 日本スポーツマスターズ 2011 自転車競技 ((財) 日本体育協会、石川県他)
- (8) 第 7 回全国ジュニア自転車競技大会 (四日市サイクルスポーツフェスティバル実行委員会)
- (9) 第 3 回全日本ステージ・レース in いわて (NPO 法人 岩手県バイコロジーをすすめる会)
- (10) ツール・ド・熊野 2011 (NPO 法人 スポーツプロデュース熊野)
- (11) 2011 ジャパンカップサイクルロードレース大会 (宇都宮市、NPO 法人 ジャパンカップサイクルロードレース協会)

## 収支予算書総括表

平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	一般会計	日本体育協会 補助事業特別会計	国際競技力 向上事業特別会計	初ビッパ・キッパ 事業特別会計	JKA・公益補助 事業特別会計	7歳-75歳 基金 事業特別会計	内部取引消去	合 計
I 事業活動収支の部								
1. 事業活動収入								
① 基本財産運用収入	950,000	0	0	0	0	0	0	950,000
② 特定資産運用収入	70,000	0	0	0	0	0	0	70,000
③ 会費収入	22,350,000	0	0	0	0	0	0	22,350,000
④ 事業収入	43,800,000	0	0	0	0	0	0	43,800,000
⑤ 補助金等収入	45,650,000	6,000,000	22,780,000	3,200,000	416,318,000	53,953,000	0	547,901,000
⑥ 負担金等収入	4,550,000	0	5,490,000	0	0	5,060,722	0	15,100,722
⑦ 寄付金収入	500,000	0	0	0	0	0	0	500,000
⑧ 雑収入	2,001,000	0	0	0	0	0	0	2,001,000
⑨ 他会計からの繰入金収入	0	0	5,904,000	0	71,587,000	2,803,000	△ 80,294,000	0
事業活動収入計	119,871,000	6,000,000	34,174,000	3,200,000	487,905,000	61,816,722	△ 80,294,000	632,672,722
2. 事業活動支出								
① 事業費支出	24,200,000	6,001,000	34,174,000	3,200,000	487,905,000	61,816,722	0	617,296,722
② 管理費支出	82,724,000	0	0	0	0	0	0	82,724,000
③ 他会計への繰入金支出	80,294,000	0	0	0	0	0	△ 80,294,000	0
事業活動支出計	187,218,000	6,001,000	34,174,000	3,200,000	487,905,000	61,816,722	△ 80,294,000	700,020,722
事業活動収支差額	△ 67,347,000	△ 1,000	0	0	0	0	0	△ 67,348,000
II 投資活動収支の部								
1. 投資活動収入								
① 特定資産取崩収入	71,347,000	0	0	0	0	0	0	71,347,000
投資活動収入計	71,347,000	0	0	0	0	0	0	71,347,000
2. 投資活動支出								
① 特定資産取得支出	3,000,000	0	0	0	0	0	0	3,000,000
投資活動支出計	3,000,000	0	0	0	0	0	0	3,000,000
投資活動収支差額	68,347,000	0	0	0	0	0	0	68,347,000
III 予備費支出								
① 予備費支出	1,000,000	0	0	0	0	0	0	1,000,000
当期収支差額	0	△ 1,000	0	0	0	0	0	△ 1000
前期繰越収支差額	226,571,550	6,360,954	3,585,629	21,104,412	0	0	0	257,622,545
次期繰越収支差額	226,571,550	6,359,954	3,585,629	21,104,412	0	0	0	257,621,545

平成 23・24 年度 財団法人 日本自転車競技連盟 新役員の紹介



会 長 富原 忠夫 (56)  
日本プロサイクリスト協会



副会長 大島 研一 (65)  
栃木県自転車競技連盟



副会長 佐久間重光 (52)  
日本プロサイクリスト協会



常務理事 斧 隆夫 (67)  
全日本実業団自転車競技連盟



常務理事 坂井田米治 (54)  
全国高体連自転車競技部



常務理事 塚本 芳大 (52)  
日本プロサイクリスト協会



常務理事 福島 厚 (55)  
JKA (学経)



常務理事 松倉 信裕 (51)  
日本学生自転車競技連盟



理 事 飯田 太文 (45)  
石川県自転車競技連盟



理 事 岡田 行雄 (64)  
鳥取県自転車競技連盟



理 事 奥田 悦司 (62)  
大阪府自転車競技連盟



理 事 倉田 達樹 (41)  
日本学生自転車競技連盟



理 事 坂巻 正巳 (45)  
日本プロサイクリスト協会



理 事 佐々木昭彦 (51)  
佐賀県自転車競技連盟



理 事 佐々木 正人 (60)  
岩手県自転車競技連盟



理 事 中田 将次 (42)  
全国高体連自転車競技部



理 事 中野 浩一 (55)  
JKA (学経)



理 事 中村 雅章 (59)  
全国高体連自転車競技部



理 事 松村 正之 (56)  
静岡県自転車競技連盟



理 事 森 清春 (62)  
全国競輪施行者協議会(学経)



監 事 林 辰夫 (58)  
大阪府自転車競技連盟



監 事 松尾嘉之輔 (56)  
花月園観光



顧 問 阿部毅一郎 (71)



顧 問 岩楯 昭一 (69)



顧 問 岡本 雄作 (76)



顧 問 村田 統司 (71)



参 与 亀田 博文 (80)



参 与 穴田 勝彦 (71)



参 与 加藤 昭 (68)

※ ( ) 内は 4 月 1 日現在の年齢。順不同。

平成 23・24 年度専門委員会委員

[総務委員会]

委員長：斧 隆夫 副委員長：岡田 行雄  
 委員：福島 厚・倉田 達樹・大池 新次

[選手強化委員会]

委員長：中野 浩一 副委員長：塚本 芳大  
 委員：坂井田米治・佐々木昭彦・中田 将次・班目 秀雄

[競技運営委員会]

委員長：松倉 信裕 副委員長：奥田 悦司  
 委員：飯田 太文・佐々木正人・中村 雅章

[広報委員会]

委員長：塚本 芳大 副委員長：森 清春  
 委員：倉田 達樹・坂巻 正巳

[アンチドーピング委員会]

委員長：坂井田米治 副委員長：松村 正之  
 委員：松倉 信裕・坂本 陽一・笠師久美子

平成 23・24 年度 財団法人 日本自転車競技連盟 評議員名簿

平成 23 年 4 月 1 日現在

俵 信之 (北海道)・久保 義春 (青 森)・主濱 春蔵 (岩 手)・星 進一 (宮 城)・山田 義輝 (秋 田)  
 泉 博文 (山 形)・鎌田 弘史 (福 島)・坂巻 正巳 (茨 城)・雁部 護 (栃 木)・水島 洋一 (群 馬)  
 藤原 盛一 (埼 玉)・廣瀬 来 (千 葉)・斎藤 邦夫 (東 京)・落合 健志 (神奈川)・保坂 晴稔 (山 梨)  
 権瓶 修也 (新 潟)・浅香 英二 (長 野)・永原 守 (富 山)・山口 清孝 (石 川)・中梶 秀則 (福 井)  
 井上 正継 (静 岡)・酒井 忠雄 (愛 知)・片岡 浩也 (三 重)・國枝 一成 (岐 阜)・小西 良章 (滋 賀)  
 千葉 嘉男 (京 都)・今井喜代治 (大 阪)・藤本 清孝 (兵 庫)・三好 泰彰 (奈 良)・類家 信雄 (和歌山)  
 岩倉 誠 (鳥 取)・吉野 勝雄 (島 根)・近藤 忠彦 (岡 山)・川手 一則 (広 島)・棟久 明博 (山 口)  
 高畑 秀規 (香 川)・久保 徹 (徳 島)・伊藤 豊明 (愛 媛)・野本 博俊 (高 知)・高山 順 (福 岡)  
 原 司 (佐 賀)・阪本 正和 (長 崎)・小西浩一郎 (熊 本)・井上 徹 (大 分)・下村 守 (宮 崎)  
 黒川 剛 (鹿 児 島)・仲松太一郎 (沖 縄)・西山 吉信 (実業団)・栗村 修 (実業団)・山崎 敏正 (実業団)  
 三宅秀一郎 (学 連)・武田 彰 (学 連)・近嵐 力 (学 連)・堤谷 孝章 (高体連)・早川 誠司 (高体連)  
 大野 直志 (高体連)

※平成 23 年 4 月 1 日現在の名簿です。





# 2011年トラック世界選手権大会



## ●男子チームスプリント

日本チームは5組目のバック発走。一走の雨谷は18秒000(9位)で走り、その後の渡邊と新田が伸びず、結果10位。全体の成績をみると、第一走者のタイム順位と総合順位がほとんど正比例しており、この種目での第一走者の位置づけが重要であることを再認識させられた。

## ●女子500mタイムトライアル

中川は一番目で発走。記録は37秒後半で期待されたタイムには遠く及ばず、順位は12位であった。

## ●女子ポイントレース

スピードに劣る上野は、アジア選手権と同様、タイミングを計りエスケープを試みる走りをする。2回目のポイント終了後、チェコ、スペインと3名で抜け出し、4回連続でポイントを重ねる。ゴール直前まで同着3位だったが、最終ゴールでイタリアに先着され、惜しくも4位となった。この成績は、日本女子の世界選手権における最高位である。昨年のジュニア世界選手権で3位になっている上野であるが、世界の舞台で更なる経験を積み、トップ選手となることを期待したい。



女子ポイントレース 4位の上野

## ●男子スクラッチレース

昨年、この種目で銅メダルを獲得している盛には、再度のメダル獲得が期待された。前半積極的に展開するがうまく流れに乗れず、ラスト2kmを残してレースを棄権した。優勝候補のMEYER (AUS)が執拗にマークされる中、うまく抜け出した香港のKWOKが優勝した。香港は数年前にもこの種目でWONGが優勝しているが、その時と同じ、絶妙なタイミングでのアタックであった。

## ●男子スプリント

予選24位までが本戦出場という中、0.03秒足らず雨谷が予選落ちするも、北津留と渡邊が通過。一回戦で北津留は勝ち上がるが、渡邊は敗れる。ワールドカップで好成績をあげている北津留に期待がかかるも12位で終わった。しかし、彼の今年度の快進撃と成長が日本チームに勢いを与えたことは言うまでもない。今大会での国別順位も5位であり、ロンドンでのメダルが十分に可能な位置にいることを示す走りであった。

## ●女子チームスプリント

第一走者中川、第二走者加瀬で出場。修善寺で直前合宿を行い、万全の体制で臨んだが、タイムが伸びず15位で競技を終えた。しかし、自転車競技を始めて一

年にも満たない二人が、世界の最高峰の舞台に立った経験を生かし、今後活躍することを期待する。

## ●男子ケイリン

渡邊、北津留、浅井が出場するが準決勝に進めず、予選での敗退となった。WCやアジア選で好成績を出し、今大会も好調だった浅井に期待がかかったが、力を出し切れなかった。王者のHOYは全レースともに得意の先行は試みず、試験的にレースを走っているように見受けられたのが印象的であった。

## ●男子オムニウム

盛はタイム競技での成績がふるわず18位の成績であった。エリミネーションではレース巧者振りを発揮し、絶妙なタイミングで抜け出したが、レースが中断する不運に見舞われてしまった。この種目においては、タイム競技で成績を残すことが重要であることは周知のとおりであり、その点を考慮して、強化体制や選手選考を行う必要性を痛感した。

## ●女子オムニウム

最初のフライングラップは振るわず最下位。ポイントレースで巻き返しを計るが、前半に落車に見舞われる。その後再乗しレースに復帰するが、結局棄権した。先日のポイントレースで日本人最高位の快挙を成し遂げた上野であるが、国際大会での落車事故が多く、その点は不安材料であることは否めないであろう。

## ●男子1kmタイムトライアル

オリンピック種目から外れて久しい1kmTTであるが、新田のこの種目に賭ける思い入れは強く、好タイムを期待した。しかし、自己ベストには遠く及ばず、16位の結果であった。この種目はチームスプリントの第三走者との関連性が高く、1分01秒で走れる選手の養成が求められる。

★震災の影響を受け、阿部監督と柳トレーナーが不参加となる中、選手は選考された全員が世界選手権に出場した。大会では開会式での黙祷や、ホーム側退避道路上のプリントなど、日本の震災に対する慈悲と励ましが表され、日本選手は全員が喪章をつけて競技にのぞんだ。ワールドカップや2月のアジア選で好成績を挙げただけに、昨年に続きメダル獲得をと意気込んで臨んだが、結果は芳しいものではなかった。世界選やオリンピックといった1ランクも2ランクも上の大会では、まだまだ日本の力は通用するレベルに達していないことを痛感させられる大会となった。オリンピックのポイント争いの半分が終わった現在、男子短距離3種目と男女オムニウムでは枠取りの好位置につけている。しかしまだ予断を許さない状況であり、来年度へ向け更なる体制を整える必要がある。今年一年を通じて、メダルに一番近い男子短距離の強化は、決して満足には成されなかったと言える。選手個人の努力だけでは世界選やオリンピックでの好成績は

望めず、組織として向上しなければいけない時期にきている。今大会はイタリアのCECI氏にコーチアドバイザー兼補佐としてご協力いただいた。短期間ながら、日本のチームの特異性を理解し、真摯に接していただいた。イタリアでコーチの研修を積んだ沖氏や競輪選手会の安田氏、気谷氏にも大会中多くのサポートをしていただいた、この場をかりて深く感謝を申し上げます。(吉井 功治)

## 2011年トラック世界選手権自転車競技大会 (2011/3/23-27 オランダ・アール・ドール)

### 男子スプリント

- 1 BAUGE Gregory FRA
- 2 KENNY Jason GBR
- 3 HOY Chris GBR
- 12 北津留 翼 JPCA 福岡
- 19 渡邊 一成 JPCA 福島
- 28 雨谷 一樹 JPCA 栃木
- 37 新田 祐大 JPCA 福島

### 男子ケイリン

- 1 PERKINS Shane AUS
- 2 HOY Chris GBR
- 3 MULDER Teun NED
- 13 渡邊 一成 JPCA 福島
- 19 浅井 康太 JPCA 三重
- 25 北津留 翼 JPCA 福岡

### 男子1kmタイムトライアル

- |                       |          |
|-----------------------|----------|
| 1 NIMKE Stefan GER    | 1:00.793 |
| 2 MULDER Teun NED     | 1:01.179 |
| 3 PERVIS François FRA | 1:01.228 |
| 16 新田 祐大 JPCA 福島      | 1:04.201 |

### 男子チームスプリント

- |                |        |
|----------------|--------|
| 1 フランス         | 43.867 |
| 2 ドイツ          | 44.483 |
| 3 イタリア         | 44.235 |
| 10 日本 雨谷・新田・渡邊 | 45.462 |

### 男子スクラッチレース (15km)

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| 1 KWOK Ho Ting HKG   |     |
| 2 VIVIANI Elia ITA   |     |
| 3 KNEISKY Morgan FRA |     |
| 盛 一大 愛知 愛三工業         | DNF |

### 男子仏二項

- |                        |     |
|------------------------|-----|
| 1 FREIBERG Michael AUS | 34  |
| 2 ARCHBOLD Shane NZL   | 38  |
| 3 VAN HOECKE Gijs BEL  | 41  |
| 18 盛 一大 愛知 愛三工業        | 101 |

### 女子500mタイムトライアル

- |                          |        |
|--------------------------|--------|
| 1 PANARINA Olga BLR      | 33.896 |
| 2 CLAIR Sandie FRA       | 33.919 |
| 3 WELTE Miriam GER       | 34.496 |
| 12 中川 諒子 新潟 Club Spirits | 37.660 |

### 女子チームスプリント

- |             |        |
|-------------|--------|
| 1 オーストラリア   | 33.237 |
| 2 イタリア      | 33.525 |
| 3 中国        | 33.586 |
| 15 日本 中川・加瀬 | 36.796 |

### 女子ポイントレース (25km)

- |                          |     |
|--------------------------|-----|
| 1 SHARAKOVA Tatsiana BLR | 30p |
| 2 MACHACOVA Jarmila CZE  | 20p |
| 3 BRONZINI Giorgia ITA   | 14p |
| 4 上野みなみ 青森 鹿屋体育大学        | 12p |

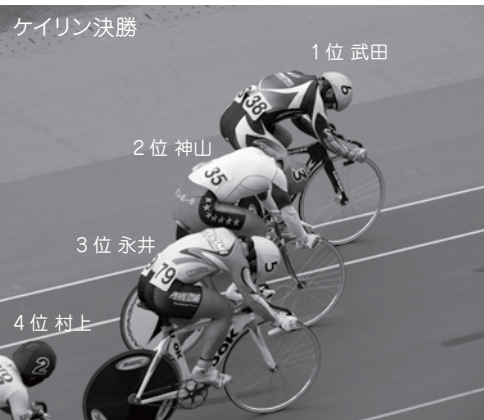
### 女子仏二項

- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 1 WHITTEN Tara CAN | 23  |
| 2 HAMMER Sarah USA | 31  |
| 3 WILD Kirsten NED | 42  |
| 上野みなみ 青森 鹿屋体育大学    | DNF |

# 第58回全日本プロ選手権自転車競技大会トラックレース



スプリント北津留、1kmTT新田、4kmIP山下が連覇!



ケイリン決勝  
1位 武田  
2位 神山  
3位 永井  
4位 村上



エキシビションのガールズレース



## 【競技結果】

### スプリント

- 1 北津留 翼 福岡 九州地区
- 2 渡邊 一成 福島 北日本地区
- 3 金子 貴志 愛知 中部地区
- 4 河端 朋之 岡山 中国地区

### 1km タイムトライアル

- 1 新田 祐大 福島 北日本地区 1:04.648
- 2 大森 慶一 北海道 北日本地区 1:05.797
- 3 稲毛 健太 和歌山 近畿地区 1:06.207
- 4 篠原 龍馬 高知 四国地区 1:07.020

### ケイリン

- 1 武田 豊樹 茨城 関東地区
- 2 神山雄一郎 栃木 関東地区
- 3 永井 清史 岐阜 中部地区
- 4 村上 博幸 京都 近畿地区

### 4km 個人追抜競走

- 1 山下 一輝 山口 中国地区 4:51.377
- 2 網谷 竜次 香川 四国地区 4:52.718
- 3 倉野隆太郎 愛知 中部地区 4:52.790
- 4 窓場加乃敏 京都 近畿地区 4:53.875

### リミネーション

- 1 中曾 直彦 千葉 南関東地区
- 2 安東 英博 大分 九州地区
- 3 松浦 悠士 広島 中国地区
- 4 椎木尾拓哉 和歌山 近畿地区

### チームスプリント

- 1 北日本地区 鈴木・伏見・佐藤 1:02.26
- 2 関東地区 稲村・矢口・木暮 1:02.65
- 3 四国地区 大西・池田・福島 1:02.98
- 4 中部地区 西村・岩見・柴崎 1:03.78

### 4km 団体追抜競走

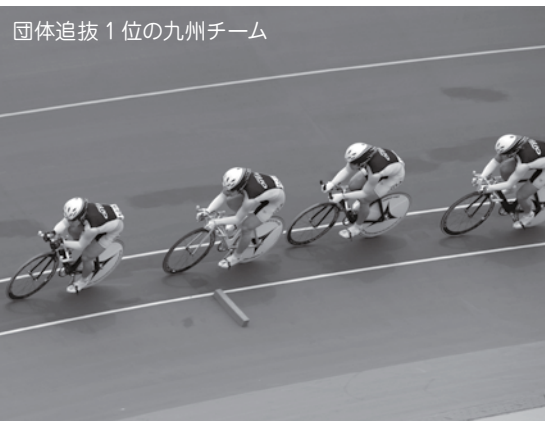
- 1 九州 安東・小岩・加藤・利根 4:29.67
- 2 近畿 脇本・渡辺航・渡辺十・鷺田 4:30.30
- 3 関東 田村・手島・石川・齋藤 4:32.11
- 4 中国 三宅・近藤・新村・片山 4:33.94



チームスプリント1位の北日本チーム



スプリント決勝、1位北津留(手前)と2位渡邊



団体追抜1位の九州チーム



個人追抜1位の山下



夢への補助輪。 RING!RING!プロジェクト  
—— 競輪の補助事業 ——



## NEWS

## ◆加盟団体事務局変更について

## 鳥取県自転車競技連盟

〒682-0044 鳥取県倉吉市小田 204 倉吉総合産業高等学校内 河田 拓也 様方 TEL: 0858-26-2851 FAX: 0858-26-2852

## 山形県自転車競技連盟

〒996-0051 新庄市大字松本 370 山形県立新庄神室産業高校内 TEL: 0233-28-8777 FAX: 0233-22-7111

## 全国高体連自転車競技専門部

〒760-0017 香川県高松市番町 2-9-30 香川県立高松工芸高等学校 TEL: 087-851-4144 FAX: 087-851-4146

## ◆2011年強化指定選手について

## 〈トラック短距離エリート〉

## ●男子強化指定選手

成田 和也 (JPCA・JPCU 福島)・渡邊 一成 (JPCA・JPCU 福島)・新田 祐大 (JPCA・JPCU 福島)  
浅井 康太 (JPCA・JPCU 三重)・北津留 翼 (JPCA・JPCU 福岡)・雨谷 一樹 (JPCA・JPCU 栃木)  
深谷 知広 (JPCA・JPCU 愛知)

## ●男子強化育成選手

河端 朋之 (JPCA・JPCU 岡山)・稲毛 健太 (JPCA・JPCU 和歌山)

## ○女子強化指定選手

加瀬加奈子 (新潟・日本競輪学校)・中川 諒子 (新潟・日本競輪学校)・前田佳代乃 (鹿児島・鹿屋体育大学)

## ○女子強化育成選手

石井 寛子 (茨城・スーパーKアスリートラボ)・渡辺ゆかり (山梨・日本競輪学校)・山原さくら (高知・日東商事)

## 〈トラック中距離エリート〉

## ●男子強化指定選手

盛 一大 (愛知・愛三工業レーシング)・西谷 泰治 (愛知・愛三工業レーシング)

## ●男子強化育成選手

窪木 一茂 (福島・日本大学)

## ○女子強化指定選手

上野みなみ (青森・鹿屋体育大学)・田畑 真紀 (JPCA・ダイチ)

## 連盟の動き (3月中旬～5月中旬)

3月10日	平成22年度第7回広報部会	於：東京・日本自転車会館3号館3階
3月29日	平成22年度第8回広報部会	於：東京・日本自転車会館3号館3階
30日	2011年ツアー・オブ・タイランド日本代表選手団出発	於：タイ・パタヤ 帰国→4/7
4月1日	平成23年度第1回臨時理事会	於：東京・日本自転車会館3号館3階
9日	平成23年度第1回競技運営委員会	於：東京・日本自転車会館3号館3階
13日	2011年ツール・ド・コリア日本代表選手団出発	於：大韓民国 帰国→4/25
24日	第11回チャレンジ・ザ・オリンピック (記録会)	於：静岡・日本CSC 250m
23/25日	平成23年度第1回強化委員会	於：静岡・日本競輪学校
28日	平成23年度第1回総務委員会	於：東京・日本自転車会館3号館3階
5月3日	平成23年度第1回アンチドーピング委員会	於：京都・キャンパスプラザ京都
3日	第4回ジュニアトレーニングキャンプ	於：鳥取・倉吉市 (～8日)
18日	平成23年度第1回広報委員会	於：東京・日本自転車会館3号館3階
22日	プレジデンス・ツアー2011日本代表選手団出発	於：大韓民国 帰国→5/30

## 〈JCF オフィシャル・スポンサー〉

PEARLIZUMI

ANCHOR

AEON



伊藤超短波

## 〈JCF オフィシャル・サプライヤー〉

CYCLOCHANNEL  
シクロチャンネル cycloch.net

## シクリスムエコー No.180 2011年4・5月合併号

発行/財団法人日本自転車競技連盟

発行人/富原忠夫

編集人/塚本芳大

編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-3 日本自転車会館内

TEL03-3582-3713 FAX03-5561-0508 <http://www.jcf.or.jp/>